

# 今月の経済動向 (2019年1月)

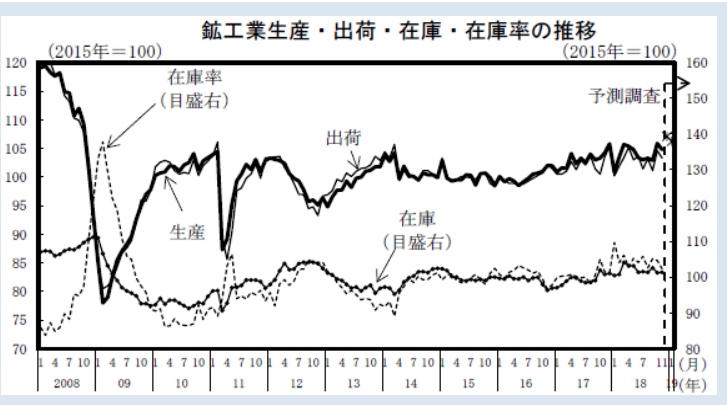
## ● 月例経済報告 (1/29)

|             |   |
|-------------|---|
| <b>基調判断</b> | <p>(1月) 景気は、緩やかに回復している。<br/>雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、<u>中国経済の先行き</u>など海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p> <p>(12月) 景気は、緩やかに回復している。<br/>先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。</p> |
| <b>個人消費</b> | <p>(1月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="691 465 1364 869"> <p>消費総合指数 (2011年=100)</p> <p>11月 ▲0.4%<br/>3MA +0.2%</p> </div> <p>(12月) 持ち直している。</p>   |
| <b>設備投資</b> | <p>(1月) 増加している。</p> <div data-bbox="691 875 1364 1279"> <p>製造業・非製造業の設備投資 (実質) (2000年=100)</p> <p>製造業<br/>非製造業</p> </div> <p>(12月) 増加している。</p>   |
| <b>住宅建設</b> | <p>(1月) おおむね横ばいとなっている。</p> <div data-bbox="691 1285 1364 1688"> <p>住宅着工戸数 (季節調整値) (年率：万戸)</p> <p>11月 95.7万戸<br/>3MA 95.0万戸</p> </div> <p>(12月) おおむね横ばいとなっている。</p>   |
| <b>雇用情勢</b> | <p>(1月) 着実に改善している。</p> <div data-bbox="691 1695 1364 2087"> <p>雇用者数、就業者数の推移 (万人)</p> <p>就業者数 11月：6,713万人<br/>雇用者数 11月：5,965万人</p> </div> <p>(12月) 着実に改善している。</p>  |

**生産**

(1月) 緩やかに増加している。

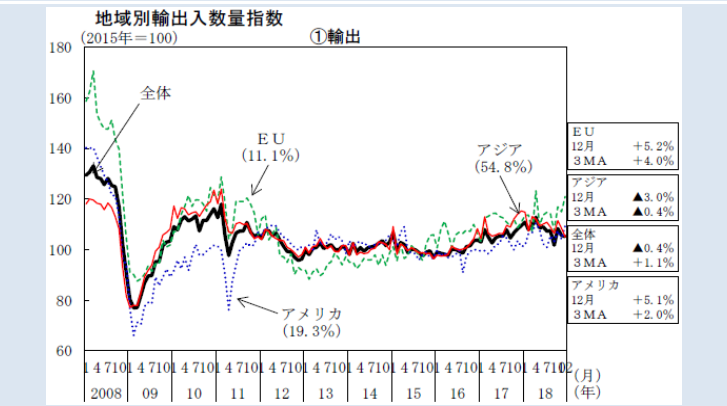
(12月) 緩やかに増加している。



**輸出**

(1月) このところ弱含んでいる。

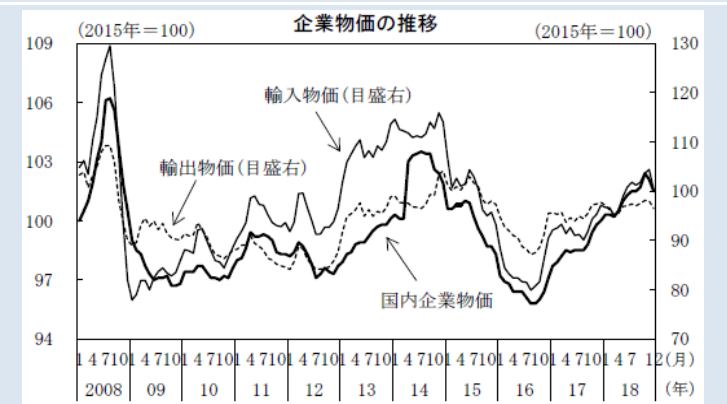
(12月) おおむね横ばいとなっている。



**国内企業物価**

(1月) このところ緩やかに下落している。

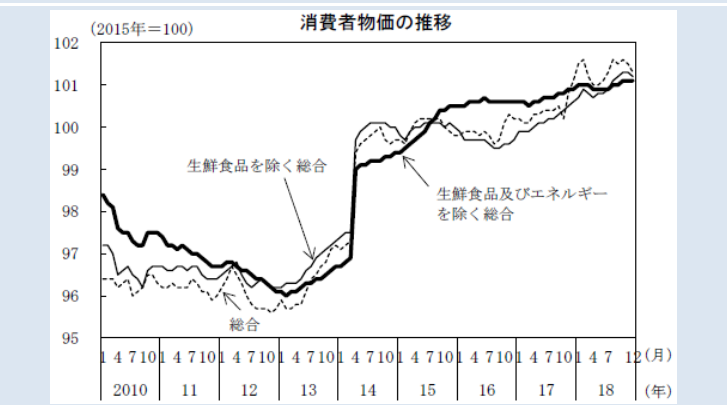
(12月) このところ上昇テンポが鈍化している。



**消費者物価**

(1月) このところ横ばいとなっている。

(12月) このところ上昇テンポが鈍化している。



**海外経済**

(1月) 世界の景気は、一部に弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある。

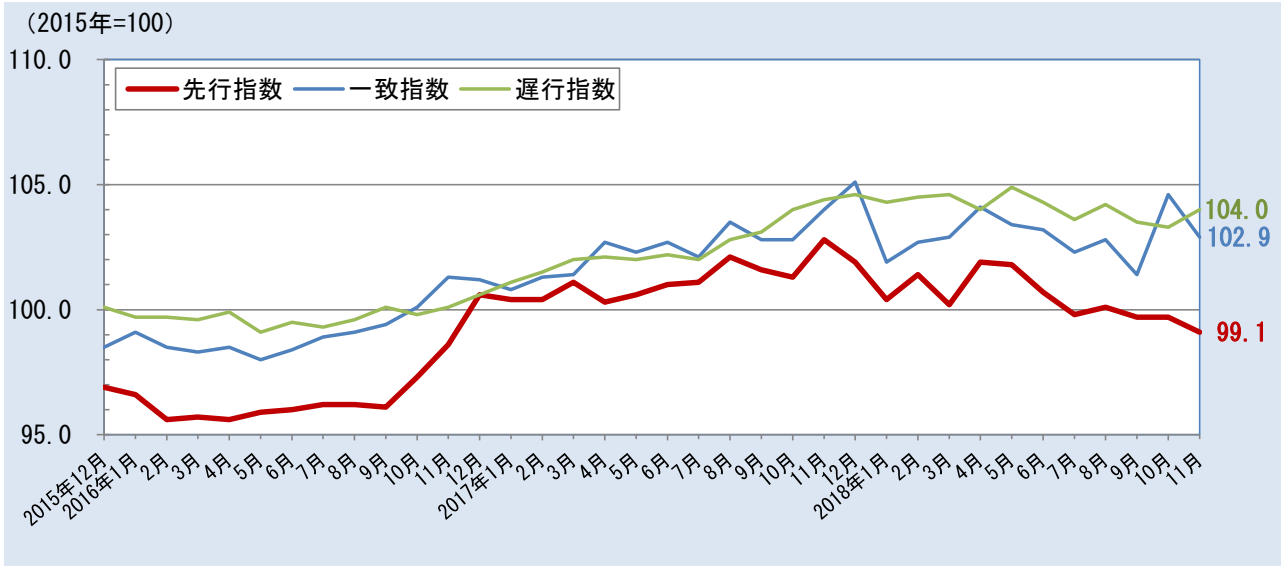
(12月) 世界の景気は、緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向及び影響、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響について留意する必要がある。

● 景気動向指数（2018年11月・改訂値）

2018年11月のCI一致指数（改訂値）は前月より1.7ポイント低い102.9ポイントとなり、2か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は前月より0.04ポイント高い103.0ポイントとなり、2か月連続の上昇となった。7か月後方移動平均は前月より0.17ポイント低い102.9ポイントとなり、2か月ぶりの下降となった。

CI先行指数は前月より0.6ポイント低い99.1ポイント、遅行指数は前月より0.7ポイント高い104.0ポイントとなった。  
 景気の基調判断（CI一致指数）は、「足踏みを示している」を据え置いた。

※CIの数値は、一致・先行・遅行指数とも全期間で遡及改訂。（前月との比較は、遡及改訂後の数値による）



[景気動向指数：内閣府](#)